

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームべにばら ユニット1	評価実施年月日	平成21年1月4日
評価実施構成員氏名	良子、馬場利幸、山本美樹、西山美恵子、佐藤由紀恵、金子和弘、米田世理子、永山さおり、藤岡渡 磯部レナ、十川さ		
記録者氏名	馬場利幸	記録年月日	平成21年1月9日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>法人理念、ケア理念の中に尊厳・家庭的な環境・その人らしさを揚げ、事業所独自の理念に基づきケアを実践している</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>勉強会、スタッフ会議、日々のケアの中でも理念の実践に向け取り組んでいる</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>ホーム主体の行事や地域の中でも話しにあげている。見学やボランティアも受け入れ伝えている</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>隣近所の人と気軽に挨拶や会話をしている。又、近所の方がホームのお年寄りの顔を見に来てくれたり、一緒にレクリエーションを行ってくれたり、気軽に立ち寄ってくれるようになった</p>	○	もっと多くの近所の方が気軽に来訪出来るようにしていきたい
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町の行事には、出来るだけ参加し、ふれあう場面作りと事業所への理解を深められるように努めている。又、町内の一員として、回覧板の受け渡しを入居者さんと一緒に、届けている</p>	○	もっと地域に交流を図っていきたい
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>小学校の授業の取り組みへの協力をし、小学生に福祉に関心を持ってもらえるように取り組んでいる</p>		地域の方を借りて、地域を支える事が出来るように協力をしていく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	改善が必要な部分については、出来る事はスタッフ同士で相談しながら取り組んでいる		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、積極的に意見を出して頂けるよう呼びかけている。又、意見要望は、サービスの向上に役立てるように取り組んでいる	○	報告書は町に提出しているが、ホーム内にも提出したり、家族にも送付する
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市町村とは、密に連帯を取り、相談しながらサービスの向上に取り組んでいる		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修に参加し、配布された資料や学んだ知識はスタッフ勉強会、研修で学べる	○	現在必要な方はいないが対応出来るように知識を深めておく
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会等で話し合い学んでいる。今後も現場内で、スタッフ同士のチェックや意見交換で見逃さない環境作りを徹底していきたい	○	虐待に関する知識とスタッフの意識向上を目指して防止の取り組みを行う
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居される場合に重要事項や契約に関して説明し、不明な点や質問や疑問等を伺うようにし、理解・納得をいただく		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者やスタッフが意見や不満を聞く事が出来るように、一人一人の入居者さんと談話の中でさりげなく表せる環境や機会を設け、個人を尊重しながら改善に向け取り組んでいる	○	第三者の苦情処理担当者の利用を気軽に活用して頂く
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	月1回のお便りで、医療面、生活面の報告をしている。ホームのニュースレターでは、行事や人事異動についても家族に知らせている。近況の変化があれば、電話にてご家族に報告し連帯を図っている		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご面会時や電話で、ご家族に意見や不満、要望、苦情がないかを聞くようにし運営に反映させている	○	ご家族から、気軽に意見や要望を出せるような環境を作っていく
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフ会議や毎日の申し送り等で機会を設けている。反映できる事は、取り組むようにしている		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	受診や緊急事態や必要に応じて対応出来るように調整している		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者やご家族にダメージのないように他のスタッフで馴染めるまで配慮している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修はスタッフの段階において受講している。現場でも学びを深めるような機会を作っている		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	町の地域包活支援センター、ディサービス、施設、グループホーム、ホームヘルプサービスの職員の代表が集まり、地域連帯介護サービス関係者会議を開き、地域の高齢者状況等の話し合いをし交流する機会を持っている。今後も開催する予定となっている		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	運営者は、管理者やスタッフとも気軽に話せる環境作りを行っており、交流を図れる機会を作っている		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	管理者やスタッフの意欲や向上心を促進し向上心を持って働けるよう努めている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご本人の不安や求める事を傾聴させて頂き受け止めるよう取り組んでいる		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご家族の不安や負担を軽減できるよう、まずお話を聞かせて頂き、ご家族やご本人の一番良い方向性に近づける事が出来るように努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	フォーマル、インフォーマルなサービスの情報を提供しながら、納得して自己決定して頂けるように対応に努めている		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前にスタッフが面談したり、ご本人にも見学に来て頂いたりしています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者が調理に携わったり、スタッフが入居者さんから習う場を作っている。又、その都度、賞賛の言葉や感謝の言葉をかけている。囲碁やオセロ等を一緒に楽しんで頂いています		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	入居者さんが寂しそうだったり、必要があれば面会に来て頂いたり一緒に病院を受診して頂いたり理解と協力を頂いている		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族には、ホームでのご本人の様子をまめに報告し、認知症の理解とご本人の理解を深めて頂き、良き関係作りに向けて取り組んでいる		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ホームでの面会も自由に出来るようにしている。又、住み慣れた場所へのドライブに出かけるなども行っている。馴染みの医療機関、お店等の利用も支援し、関係が途切れないように努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者さん同士が談話されたり、出来ない事を変わりにして下さったりと支え合ってくれている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所された利用者さんのご家族が年に数回近況報告してくれる		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者さんの希望を聞くようにし、暮らし方の希望、意向の把握に努めている。希望を表すのが困難な方には、状況を見ながら本人本位になるように、検討している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人やご家族より、情報収集を行い把握している		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	申し送り、ミーティングなどで、スタッフ間での情報交換を行い、情報を共有しながら、現状を総合的に把握するよう努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族ご本人からの情報収集や担当会議を随時行い、個人に合ったケアプランを作成し、実施するよう努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的な見直しと共に、入退院時や変化に合わせ、介護計画の見直しを行っている		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子、ケアの実践、バイタル、食事量など個別に記録し、個人の課題等もケア記録に書き込み、介護計画の見直しに活かせるようにしている。連絡ノートも活用している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご家族が来られ、希望があれば、食事や利用者さんとの宿泊にも対応できる		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察、消防との連携体制は、出来ている		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他の介護支援専門員やサービス事業者と話し合い、グループホームの良さを実感して頂いています。又、こちら側からも支援出来る体制を作っている		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要性があれば、連帯を取り、ケアマネジメント等について協働しているが、権利擁護等についての実質的な相談事例が、今の所ない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>基本的に係りつけ医を受診出来るよう支援している。日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>認知症に詳しい医師(医療機関)と連携を取りながら、治療や診断、電話相談も受けられるよう、支援している</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>医療連携の看護師や当事業所の看護師、スタッフと情報を共有しながら、相談援助を頂き、健康管理を支援している</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院先の病院医師や看護師と常に連絡相談体制を築き、早期退院に向けて取り組んでいる</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>ホーム内の対応については、入居時に説明し書面にて同意して頂いており、重度化した場合は、その都度、話し合いを繰り返し、ご本人、ご家族の意向を尊重しながら、決定するようにしている</p>		
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>医療機関と連帯を図りながら支援についてチームで相談し検討している。又、ターミナル研修会に管理者、スタッフ参加し学んできた</p>	○	<p>ご本人、ご家族の意向を十分に考慮し迅速に対応出来るようにしたい。又、重度化終末期の知識をもっと身につけていきたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>ご家族と相談を重ね、行政とも情報交換し住み替えである先の担当スタッフとも情報交換を行い、ダメージを出来るだけ防ぐように努めている</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>プライバシーを損ねる対応は行っていないですが、昔から慣れ親しんだ呼び方で利用者さんを呼ばせて頂いています</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>本人の思いや希望を表せるよう、スタッフは、ゆっくりと話を傾聴出来るように支援し個人が自己決定できるような機会を作るように支援している</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>利用者さんのペースに合わせた業務やスタッフの都合を優先しないように支援している</p>	○	スタッフの都合が優先している事もあるので注意したい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>本人の希望により、訪問する理容院を利用される</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>食事の準備(食材の下ごしらえ)食器の後片付け等、出来る事をスタッフと共に取り組んでいる。又、スタッフも入居者さんと一緒に、談話しながら同じ食事を、楽しんでいる</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	飲酒や喫煙する方はいないが、食事やおやつの人に好みの物を提供している		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人一人の排泄状況を把握し、定期的にトイレへ誘導する。個々に合わせた排泄の支援をしている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体調や気分の良い時に声掛けをし、利用者個人の状況を合わせて、支援をしている。又、入浴中は会話をしながら、入浴を楽しめるように支援している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	ソファや車椅子に座っている事が増えた利用者さんに対しては、食後に横になって頂いている。本人の希望で休めるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	利用者さんと日常会話で情報収集を行い、家事が生きがいの方は、スタッフと一緒に家事を手伝って頂いている。又、気晴らしにドライブや買い物に出かける等し、張り合いのある生活を送れるよう支援している	○	一人一人が生き生きできるように支援していきたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理能力のある利用者さんには、ご家族と相談して、小遣い程度の所持を頂いているが、買い物をする機会がなく実施していない	○	病院の受診・外出・買い物で、お金を所持し使えるよう支援していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	希望により、自宅への外出援助をしている。散歩を希望される利用者さんに対し、天候・気温・路面状況を考慮し戸外へ散歩している		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	面会に来れない家族については、ドライブや個人に合わせて外出支援を行っている		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	贈り物が届いた時には、お礼の電話を掛けたり、近況の報告等を電話や手紙を書くよう支援している		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	馴染みの方の来訪時は、気兼ねなく居室やホールで寛いで頂き、居心地良く過ごして頂けるよう配慮している		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	申し送り、勉強会、研修等で身体拘束について話したり、学んだりして取り組んでおり、当ホームでは、身体拘束は行ってはいない		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は施錠は、していない。夜間は、防犯上で施錠している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>67 ○利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>利用者さんの所在、様子は、スタッフは常に気に掛け、把握し、夜間は2時間置きに巡回にて所在や様子を把握し安全に配慮している</p>		
<p>68 ○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>注意の必要な物品については、スタッフが管理している。洗剤・包丁等は、夜間は棚の中に保管している</p>		
<p>69 ○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>細心の注意をはらいながら、支援しているが、事故防止の知識を全スタッフで、話し合い、学んでいく必要がある</p>	○	<p>事故対策委員会の活用を取り入れ勉強していく</p>
<p>70 ○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>マニュアルがあり職員が対応出来るようにしている</p>		
<p>71 ○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>年に2回の避難訓練を実施しており、全職員が対応できるようにしている。地域の人々の協力を得られるよう、働きかけはしたことがない</p>	○	<p>新しい職員は、救急救命講習を受講するようにし、地域の人々の協力を得られる働きかけをしていきたい</p>
<p>72 ○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>状況に応じて、その都度、ご家族とリスクについて話し合い対応している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日定時にバイタル測定を行い体調を管理している。異変時には、管理者や看護師に相談、報告しかかりつけの病院と連帯を取り対応している		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の内容は、チェック表を用いて確認できるようになっている。服薬の際は、名前・日付を確認し誤薬のないよう注意している		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分補給や運動等を、ミーティング及び、ケアプラン等に位置づけ、食生活の改善や便秘予防の方法をスタッフ間で話し合っている		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、口腔ケアを実施し、夕食後は義歯は洗浄剤へつけている		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個人の持病や体調等の様子を把握して、食事量・水分量を個人にあわせ対応している。又、個人の咀嚼状態や嚥下状態に合わせ、きざみ食やミキサー食を提供している		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	感染症におけるマニュアルを作成し、職員は周知している。玄関に消毒液等を設置し、職員は出勤時に行い、面会者にも行ってもらっている。又、手洗いうがい等も行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	まな板、布巾は毎日、消毒している。食材についても購入時、調理前にも鮮度を見極めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関スロープにプランターの花を置いて、親しみやすく安心して出入りが出来るようにしている。冬はイルミネーションで楽しめるようにしている。ロードヒーティングで転倒予防に努めている		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	夏季には庭で日光浴をかねて、お茶を飲んだり、玄関やホールに季節の花を飾ったりする等、季節感を味わえるよう支援している		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	だいたい、いつも決まった所に座ってテレビを見て頂いたり、利用者さん同士で畳の所で一緒に寛いでいたりし、自由にして頂いている		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人の好みや慣れた家具を持ち込まれ、安心して暮らせるよう工夫をしている。又、ご本人で自由に模様替えをする方もおられ居心地良くされている		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	利用者さんと相談し、室温調節、換気を行い快適に過ごせるようにしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりやベットの横には立ち上がりバーを設置し、安全に行動できるようにしている</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>自立支援を目標に、各利用者さんのわかる事、出来る事を見極め持っている能力を活かせるよう支援している</p>	
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>プランターに花を植えたり、菜園を作ったり、利用者さんに楽しんで活用出来るよう取り組んでいる</p>	

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている 丸②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>○①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ○②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ○②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

理念にもとづき、お一人お一人がこのグループホームで生き生きとご自分らしく生活して頂けるよう支援している。お一人お一人の尊厳を守り安心された環境を作っていけるよう取り組んでいます。